

お知らせ

## 脚立作業の安全対策について

ご自身でやられるDIY、電球の取替え等に脚立を使用する場合**無理な姿勢でバランスを崩す事が**事故の原因と成ります。ここでは、厚生労働省がまとめた事故の原因の中で多い事例3つを紹介致します。

### No1 脚立の天板に乗りバランスを崩す



【事例】脚立の天板に乗って作業したところバランスを崩し背中から墜落した。

#### ワンポイント対策例

天板での作業は簡単にバランスを崩しやすいので禁止。より安全な代替策を検討する。

片側使用

(後の安全使用にて説明)

### No2 脚立にまたがってバランスを崩す



【事例】脚立をまたいで乗った状態で蛍光灯の交換作業をしたところバランスを崩し階段に墜落

#### ワンポイント対策例

作業前危険個所がないか確認し、安全な作業方法を考える。

片側使用

(後の安全使用にて説明)

脚立の安全対策

## No3 荷物を持ちながらバランス崩す



【事例】 手に荷物を持って脚立をおりようとしたところ、足元がよろけて背中から墜落した。

### ワンポイント対策例

身体のバランスをしっかり保持するよう、昇降時は、荷物持たず、3点支持を守る

## 脚立の安全使用

### 3点支持

3点支持とは通常、両手・両足の4点のうち3点により身体を支えること指すが身体の重心を脚立にあずける場合も、両足と伏せて3点支持になる。

右側写真では、脚立の片側使用にて、両足・左手にて3点支持をして作業しております。



工事現場・工場等の場合、労働基準監督署が、業者に対して厳しい規則に基づき監督しています。

一般の方が使用する場合、無理だと思ったら お気軽にアフターサービスに連絡下さい。